

「まるごとまちごとハザードマップについて」

「まるごとまちごとハザードマップ」とは、ハザードマップに示された浸水深が実際にどれだけの深さなのかを実感できるように、浸水の深さをまちごとに標識として表示したものです。速やかに避難行動がとれるよう、避難場所の情報も提供しています。

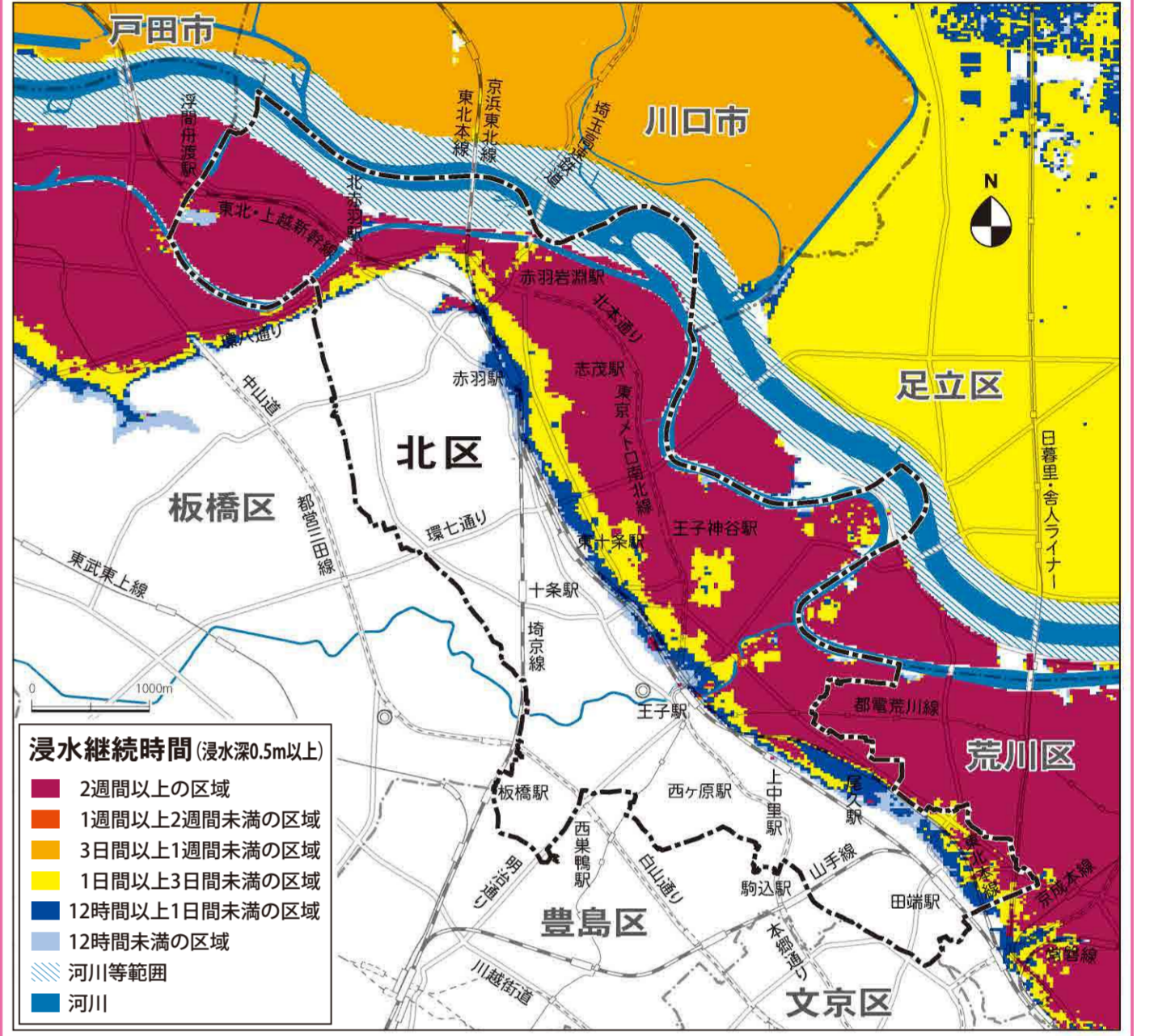


実際に設置された「まるごとまちごとハザードマップ」の標識

東京都北区洪水ハザードマップ
～荒川が氾濫した場合～
令和4年(2022年)4月

概要
この図は、荒川が氾濫した場合に想定される浸水区域及び浸水深、避難場所等を示したものです。水防法により定められた想定最大規模降雨(荒川流域の72時間総雨量632mm)に伴う、洪水浸水想定区域図(国土交通省)を反映しています。(荒川水系入間川の洪水想定を含む)

浸水継続時間
荒川が氾濫した場合に想定される浸水継続時間(水深50cm以上の状態が続く時間)を示しています。(荒川水系入間川の洪水想定を含む)
多くの地域で2週間以上の間水が引かず、自宅等に戻れなくなることが予想されます。



高台水害対応避難場所(荒川等が氾濫した場合)

番号	高台水害対応避難場所名称	所在地	地図参照
1	桐ヶ丘中学校	桐ヶ丘2-6-11	C-3
2	桐ヶ丘小学校	桐ヶ丘1-10-23	C-3
3	赤羽台西小学校	赤羽台2-1-34	D-3
4	稲付中学校	赤羽西6-1-4	C-4
5	梅木小学校	西が丘2-21-15	D-4
6	西が丘小学校	十条仲原4-5-17	E-4
7	王子第三小学校	上十条2-3	E-4
8	王子第五小学校	上十条2-18-17	E-5
9	旧富士見中学校	上十条3-1-25	E-5
10	十条富士見中学校	上十条1-9-33	E-5
11	滝野川もみじ小学校	滝野川3-72-1	F-5
12	滝野川紅葉中学校	滝野川15-55-8	F-5
13	旧滝野川第六小学校	滝野川15-44-15	F-6
14	谷端小学校	滝野川17-12-17	F-6
15	滝野川第二小学校	滝野川16-19-4	F-6
16	北区役所滝野川分庁舎	滝野川4-17-56	G-5
17	滝野川第三小学校	滝野川11-12-27	G-5
18	西ヶ原小学校	西ヶ原4-19-21	G-6
19	飛鳥中学校	西ヶ原5-5-12	H-6
20	滝野川小学校	西ヶ原1-18-10	I-6
21	田端小学校	田端5-4-1	J-6
22	旧田端中学校	田端6-9-1	I-6

区内の高台にある主な病院

番号	施設名称	所在地	電話番号	地図参照
1	北療育医療センター	十条台1-2-3	3908-3001	F-5
2	赤羽リハビリテーション病院	赤羽西6-37-12	5993-5777	C-4
3	東北医療センター	赤羽台4-17-56	5963-3311	C-2
4	大橋病院	桐ヶ丘1-22-1	3907-1222	C-4
5	滝野川病院	滝野川12-32-12	3910-6336	G-5
6	花と森の東京病院	西ヶ原2-3-6	3910-1151	H-6
7	西ヶ原病院	西ヶ原2-46-9	3917-6561	H-6
8	富士病院	西ヶ原3-33-11	3910-6661	H-6
9	金地病院	中里1-5-6	3821-6433	I-6

凡例

想定される浸水深(深さ区分)と目安

- 10.0m: 最上階(2階)まで浸る程度
- 6.0m: 2階の軒下まで浸る程度
- 3.0m: 2階床下まで浸る程度
- 0.5m: 1階床高、屋外で大人の膝まで浸る程度

土砂災害特別警戒区域 (赤線)

土砂災害警戒区域 (黄線)

- 高台水害対応避難場所 (1)
- 区内の高台にある主な病院 (2)
- まるごとまちごとハザードマップ標識 (3)
- 危険箇所や注意を要する場所 (4)
- 区境界 (5)
- 水位観測所 (6)
- 河川監視カメラ (7)
- 避難経路(車両通行可) (8)
- 避難経路(歩行者専用) (9)
- 避難経路(階段のみ) (10)
- 高速道路 (11)
- 主要道 (12)
- 河川等範囲 (13)

早期の立退き避難が必要な区域及び浸水ランク別の避難行動

区域等	避難行動	注釈
家屋倒壊等 氾濫想定区域	【早期の立退きが必要】 木造2階建ての家屋が倒壊するような激しい氾濫流が発生する可能性があり、歩行不能となる浸水深0.5m以上の状態が2週間以上継続するため、できるだけ速くの高台に避難する。また、安全に避難するために、天候が悪化する前の早い段階で行動を開始する。	【緊急的な避難】 高台に移動する時間的な余裕がない場合や、強い風雨のため外に出るとかえって危険な場合は、自らの判断で堅牢な高い建物(コンクリート、重量鉄骨造など)の上階に避難する。その場合は必ず想定される浸水深より上階に避難する。
歩行不能となる区域 (0.5m以上)	【早期の立退きが必要】 歩行不能となる浸水深0.5m以上の状態が長い期間(場所によっては2週間以上)継続するため、できるだけ速くの高台に避難する。また、安全に避難するために、天候が悪化する前の早い段階で行動を開始する。	
その他の浸水想定区域 (0.5m未満)	床下浸水程度の浸水被害が想定されることから、安全な高台への避難を検討する。また、避難する場合には、安全に避難するために、天候が悪化する前の早い段階で行動を開始する。	※荒川の氾濫は大型台風の接近等早い段階で予測は可能である。
浸水想定区域外	テレビや区からの最新情報を収集する。	浸水想定区域内の住民等が避難していただくことも考えられるため、避難の手助けを行う。